

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 花園		
○保護者評価実施期間	令和7年3月3日		令和7年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育における目標の目安を年齢や障がい程度に合わせてしっかり構築し、利用者さん全員が花園を卒園した後の進学、就労、就職の率にこだわった療育を行っています。	コミュニケーション能力と社会性を育てるために「自分で考えることの大切さ」と「考える力の構築」を意識した活動や療育を行っています。	色々な理由や利用者さんの置かれた状況等により、利用者さん個々の成長には個人差が生じるため、利用者さん全員にしっかり寄り添い、適合した支援方法や療育プランを構築していきます。
2	小学1年生から高校3年生までの年齢幅の広い利用者さんがほぼ毎日元気に登所してくれています。利用者さん全員がとても明るく優しいため、自然と助け合いや協調性を重んじる雰囲気事業所内に溢れていることが強みです。	イベント活動、運動、工作、お出かけ、お買い物訓練と行った活動を全体療育や個別療育でバランスよく行いながら利用者さん同士の協調性や助け合う力を育てています。	言葉では伝わりにくい利用者さんにも事業所の想いが届くように、視覚補助ツールや音楽等をもっと活用できるシステムを構築していきます。
3	障がいあってもなくても良い事は良い、悪い事は悪いをしっかりと教えるようにしています。	支援員側の一方的な感情を押し付けず、利用者さんに納得してもらえよう、丁寧な対応を心掛けています。	利用者さん個々に沢山声掛けをし、しっかり寄り添うことで事業所が自分の居場所であることを認識してもらい、自分は必要とされている人間であること、障がいがあってもしっかり幸せになれることを真摯に伝えていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者さんと障がいのない子どもとの交流の場をあまりつくってあげてないことです。	ここ数年は感染予防等の要因があげられます。また、利用者さんの多くが障がいのない子どもとの交流に対し苦手意識を持っていることが考えられます。	近所の公園で遊んでいる子どもと一緒に遊んだり、地域のイベント等に参加をし、障がいのない子どもとの交流がスムーズにできるよう支援します。
2	保護者会等の開催があまりできていないことです。	ここ数年は感染予防等の要因があげられます。事業所開所時間中は利用者さんが多く来られるので、保護者の皆様が集まれる会を催すことが難しいことが原因です。	利用者さんと保護者の皆さんと一緒に過ごせる会をまずは計画する等して対応できればと思います。
3			